

12年間の闘争に幕!



復職を勝ち取った
KTX 乗務員のみなさんとお子さん

韓国鉄道労組、 KTX乗務員の復職を勝ち取る!

KTX乗務員問題とは?

KTXとは2004年4月1日に開業した韓国のソウル駅から釜山駅を走る新幹線のことで。

KTXは韓国鉄道公社によって営業されているのですが、彼女たちは鉄道公社の下請会社である「鉄道流通」に1年契約の臨時社員として雇用され、鉄道公社にKTX乗務員として派遣されました。

入社した当時、会社と約束した「2年以内の正社員転換」は守られず、正社員とのあまりの待遇の違いもあり、安全に関する業務は本場で運営することなどを求め、2006年3月にストライキに突入し、2カ月後、208名もの仲間が解雇されました。その時から12年間、ソウル駅前でテントを張ったり、時には命を掛けて、ソウル駅にあった鉄塔に籠城するなどたたかってきました。法廷闘争では、1審・2審と勝訴し、解雇中の賃金も支払うよう命令も下されていましたが、最高裁での逆転敗訴が決定し、悲観した仲間が自殺に追い込まれる事態もありました。

国際連帯とJR東労組

JR東労組は、海外の労働者と連帯した取り組みをしてきています。韓国にも多くの連帯した仲間がいます。JR東労組も長年のたたかいを支えるべく、国際連帯として集会などの支援行動も数多く取り組んできました。

その韓国鉄道労組 KTX 乗務員が、12年のたたかいを経て、7月21日に復職を勝ち取ることが出来ました!!

彼女たちの長年にわたったたたかいに敬意を表し、私たちも会社施策に向き合い、雇用を守るための取り組みをしっかりとしていこう!



2007年 JR 総連東北地方協議会青年部集会

自分たちの雇用を守るため
取り組みを行っていきこう!



2007年日韓青年労働者交流